

伊藤 千春 議員

無会派



問 次世代を担う教育改革は

答 誰一人取り残さない教育

○本市教育の現状認識と教育改革について、以下を問う。

問 不登校、長期欠席、自己肯定感、教育格差等に対する認識は。

答 〔教育部長〕重要な課題であると認識している。

問 探究型教育を踏まえた、自ら考える力を育てる教育への転換は。

答 〔教育長〕従来の枠組みの中で自ら考える力を育てていく方針。

問 教育を本市の重要政策として位置付け、「教育で選ばれるまち」を目指す考えは。

答 探求的な学習を推進し、生きる力を育み、選ばれる学校づくりを進めていく。

問 一貫教育による不登校予防や自己肯定感向上等への効果は。

答 〔教育部長〕一定の効果は認識している。

問 本市の一貫教育の研究・推進は。

答 〔教育長〕既存の連携を重視していく。

問 本市だからこそできる教育は。

答 伊勢湾台風の経験を生かした防災教育、広島研修での平和教育、相談体制の充実など、命の大切さを学んでいる。



イメージ画像

問 生きる力を育む金融教育は

答 金融リテラシーの育成を進める

○子どもたちの人生設計力・判断力・自己防衛力を育む金融教育の推進について、以下を問う。

問 金融教育を、生きる力の教育として位置付ける考えは。

答 〔教育部長〕消費者教育やキャリア教育と連動し、※金融リテラシーの育成を進める。

問 体系的な金融教育の推進は。

答 〔教育長〕学習指導要領に基づき、小中学校の発達段階に応じて体系的に進めていく。

※「お金について正しく判断する力」のこと。

問 本市独自の実践型金融教育の導入の考えは。

答 金融機関や外部専門人材などとの連携による実践的な学びは有効と考える。



イメージ画像